

# 庄原市自治振興区活動報告会

## 東城自治振興区だより

### 平成二十五年度 庄原市自治振興区活動報告会

七月二十七日(土)、東城文化ホールで「平成二十五年度自治振興区活動促進事業報告会」が木山庄原市長、野原県大名誉教授をはじめ自治振興区関係者が多く参加して盛会に開かれました。

この報告会は、市内の自治振興区が地域課題の解決を図るため庄原市から補助金の交付を受け実施した事業について実践経過や事業成果等を報告するもので毎年この時期に開催されています。

平成二十四年度では、十四自治振興区が十五の事業について取り組みましたが、報告会では東城地域の「上町自治振興区(自治会)」をはじめ市内五自治振興区がステージで実践報告を行うとともに、十五の事業すべてがポスター展示により活動成果を報告しました。

当日は、ブランド米の生産・販売の取り組み。市街地の歴史・文化を活かした町並みづくり。交流施設のバリアフリー化による利用促進などの報告に関心が寄せられ、次年度以降の取り組みの参考になる有意義な報告会でした。

東城自治振興区  
東城町川東  
電話・FAX  
2-0487



自治振興区名	事業名	事業内容
山内自治振興区	竹ペレット製造・作業施設事業	竹パウダーペレットを製造し、ブランド米の生産・販売を拡充する。
西城自治振興区	ふれあいサロン等交流拠点施設利用推進事業	交流拠点である多目的研修集会所をバリアフリー化し、利用促進をはかる。
上町自治振興区	人が集い人が輝くオンリーワンの上町事業 【東城市街地文化財回遊ロード創設事業】	「常夜灯」を創建当時の場所である大橋近くに移設し、文化財回遊ロードの創設により、新たに観光スポットとして整備する。
口和自治振興区	黒岩城址整備事業	黒岩城址の冊子や幟の作成、歴史ガイド育成を行い、地元農産物の販売促進など地域の元気を目指し、地域の活性化を図る。
下高自治振興区	食のまちおこし事業	自治振興センターに厨房機器を整備し、地元農産物を活用した特産品の開発を進める。

平成二十五年度市政懇談会について  
市民と市長が直接対話することにより、市政への理解を深め、市民の意向が尊重された「まちづくり」を行うことを目的に今年度も市政懇談会が開催されます。  
市民の考えを市長に直接お伝えするまたとない機会です。関係者のご出席をお願いします。

一、期日

平成二十五年九月三日(火)

午後7時～9時

二、場所

市役所東城支所 3階 大会議室

三、参加者

① 自治振興区役員

② 一般市民も参加できます。

③ 市側は、市長、副市長、関係課長、支所関係者

四、テーマ

【共通テーマ】

市長の施策「庄原いちばんづくり」三本柱の一つ「こまわい活カ」について意見交換

【地域テーマ】

「森林を活かした町づくり」について

五、その他

① 東城会場での地域テーマは右記のテーマで意見交換を行います。

② 意見交換は、共通、地域テーマに沿った内容に限定されるので、ご承知下さい。

### 上町自治会

会長 寺西義雄

上町自治会は、百三十五世帯有り（男性百三十九名、女性百四十八名）の総勢二百八十七名です。

上町、上ノ町、備中町の三町を合わせた名称です。会長、副会長の下に会計、事務局（部）、環境部、街並み振興部、福祉部、体育部の六部門からなる構成で自治会活動を推進しています。

今回は環境部について若干ご説明しますと、次の六点について活動しています。

- ① クリーン作戦の推進
- ② 粗大ごみの収集活動
- ③ 花いっぱい運動などの美化活動
- ④ ごみステーション等の整備
- ⑤ 常夜灯の維持管理
- ⑥ その他、地域内の環境活動の推進

となつています。クリーン作戦はすでに六月九日に終了しています。残りの事業については遅滞なくタイムリーに部会を開き各役割分担を決めつつ環境部としての役割を果たしているところです。

また、町内の見どころといたしましては、何と云っても国の登録有形文化財の三楽荘でしょうか？

明治二十四年東城町上ノ町出身の木工、横山林太郎氏が手掛けた数棟の内の代表的建物で当時としては最高の材料を各所にふんだんに使い百年以上経った今でも凛とした佇まいを見せる雄姿は圧巻です。

広島大学工学博士の三浦先生の弁を借りれば町屋建築では日本で十本の指に入るほどの文化的価値があるそうです。以上、今回はこの辺で上町自治会の一部ですが御案内しておきます。



# 自治会紹介

東城自治振興区には10の自治会があります。自治会によってさまざまな取り組みや行事をされています。今回は宮平団地、上町の2つの自治会を紹介します。

### 宮平団地自治会

阿武 豊

宮平団地自治会は、東城自治振興区十自治会の中で一番歴史が浅い自治会です。

平成三年に宮平住宅団地造成工事が完成し、翌年から居住者が少しずつ増え、現在は一戸建て五十一世帯、市営住宅八世帯、東城高校官舎二世帯、計六十二世帯です。

平成六年に宮平団地浄化槽維持管理組合を町から受け継いだことから、今の自治会の原形が発足しました。

平成十年十一月には住民全員協力を得て陳情書・各関係者の協力を得て陳情書・嘆願書提出から約二年後に宮平団地集会所が完成し以降十五年間、住民コミュニティの中心の場となる。

現在、入居者順に役員任期を二年とし、「総会」、「花見」、「グリーン作戦」、「夏祭り」、「クラウンゴルフ大会」、「敬老会」等々、そして、平成十二年に財団法人自治総合センターの収入を財源とする自主防災組織の助成を受けたこと、訓練など行つていきます。

もしかしながら、宮平団地自治会も他自治会同様に年々高齢化が進み「高齢者のみ」の世帯が増えているのが現状です。

ご承知のように、現在は、長寿国日本として、又、豊かな国として、世界に知られるようになっておりますが、これも、ひとえに「老木に咲く花こそ完成の美」との例えが有りますように、現在の高齢者の皆様方が「尽力」

下さり、この社会を築きあげて下さったおかげと我々世代一同、感謝致して居るところでございます。そういった高齢者の皆様方が「いくつになっても安心して暮らしていくける住みよい自治会」をめざし、又、自治会員相互の「若返り」と顔の見える関係を進めていきたく思っています。よろしくお願ひします。

宮平団地役員一同

平成二十五年四月一日、  
平成二十六年三月三十一日

一	平成二十四年度定期総会	四月
二	団地花見会	四月
三	グリーン作戦事業（春）	六月
四	クラウンゴルフ	七月
五	敬老会	八月
六	川西運動広場草刈作業	九月
七	クリーン作戦事業（秋）	十月
八	粗大ごみ収集事業	十一月
九	防火防災訓練事業	十二月



### ウーマンカレッジ日帰り研修

～健康法話と金子みすずを訪ねる～

七月六日(土)ウーマンカレッジは山口県へ日帰り研修に行きました。

久しぶりの遠出にバスの中は終始にぎやか。長門市につくと、緑一色の木々に囲まれた大寧寺で健康法話を聞き、すがすがしい気分で癒しのひとときを過ごしました。その後、金子みすず記念館を訪ね、金子さんの生い立ちや作品などの展示を参加者たちは真剣なまなざしで見つめていました。

豪雨のため乗車予定だった「みすず潮騒号」が運休になるというハプニングがありました。が、「こんなこともあんなだね。これもいい思い出だね。」と話し、充実した研修となりました。



(k)

### しごんぼ隊自然観察学習

～東城川の生き物観察～

七月二十七日(土)しごんぼ隊はふれあいセンター前にある川へ、生き物の観察にでかけました。

「こわい、すべる。」と川に入るのを始めはこわがっていた子どもたちでしたが、魚がとれると「やったー、とれたー!」とおおはしゃぎ。「これ何のさかな?」「これはギギで」と、とれた魚の名前を教えあいながら楽しく学習することができました。

魚の潜む場所や網で魚をとる方法、また白やぶなど初めて見る生き物を観察したりと、たくさんのごとを学び、子どもたちは大満足の体験学習となりました。

(k)

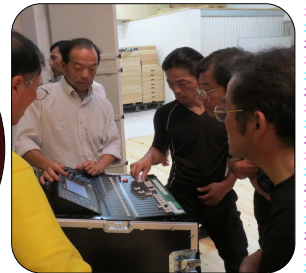


### 東城文化ホール音響・照明専門技術養成講座

東城自治振興区では、東城文化ホールを市民手作りで活用していただくため、文化ホールに設置されている音響・照明機器の専門技術養成講座を、7月9日(火)より毎週火曜日、全5回の予定で開催しています。

講師に日本舞台音響家協会会員の増永正己さんを迎え、第1回目は資料を見ながら増永さんの経験をもとにした話を聞くなど基礎知識を学びました。第2回目以降は文化ホールに設置してある音響・照明機器を実際に使用し、スピーカーや照明の調整、ステージの仕込みなど、さまざまなことに挑戦しています。

残り1回は講座の集大成となるミニライブです。参加者一丸となり、学習の成果を発揮したいと思います。(k)



### 俳句教室 さざり会

箱入りの土用鰻を提げて来る

初成りの紺色光る茄子かな

高坂とくお

佐古 春子

### 夏休み体験教室「和紙ちぎり絵」

7月30日(火)東城自治振興センターで夏休みこども体験教室「和紙ちぎり絵」がありました。人物画というテーマに、子どもたちは思い思いの人物を描いていました。

出来上がった子どもたちの作品をお借りし、下記のとおり展示をします。ぜひご家族皆様でご来場ください。

日時 平成25年8月24日(土)～26日(月)  
場所 庄原市田園文化センター 2階  
庄原市西本町2-20-10

